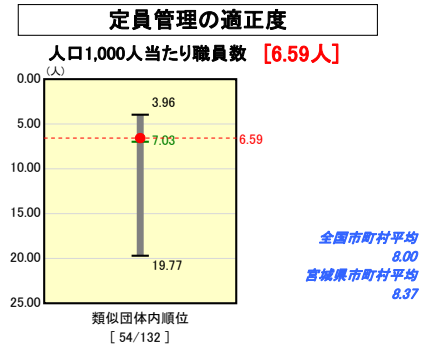
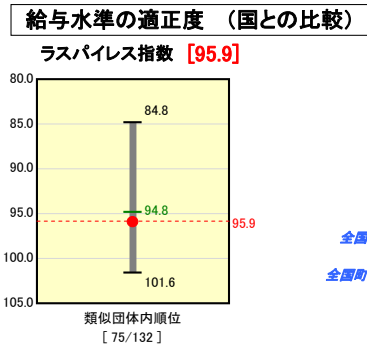
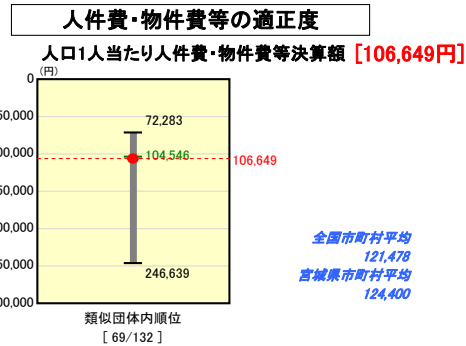
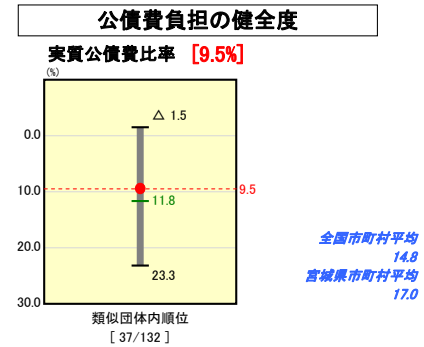
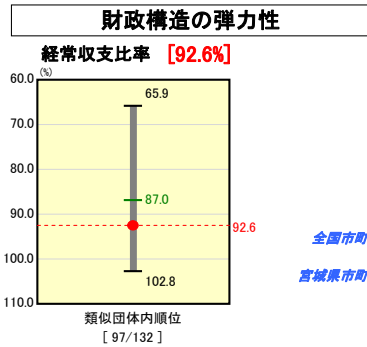
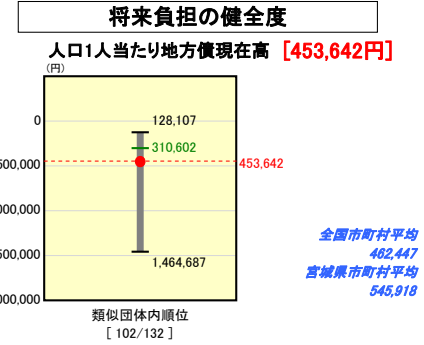
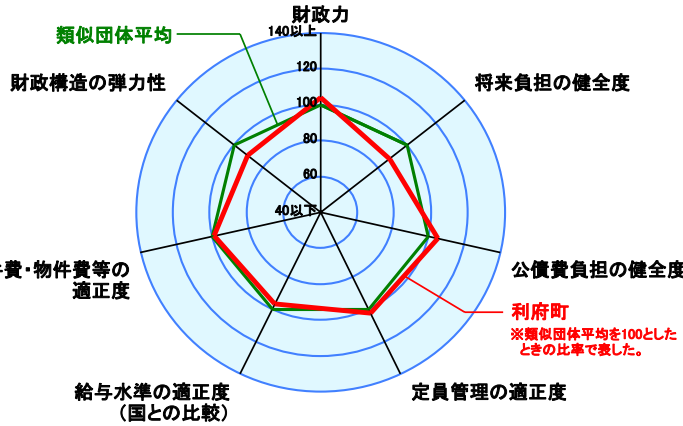
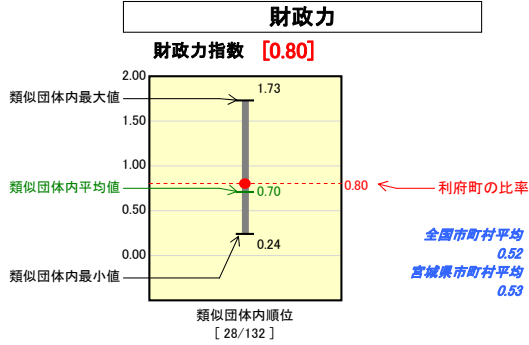


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

宮城県 利府町

人 口	32,792	人(H18.3.31現在)
面 積	44.75	km ²
歳入総額	8,322,076	千円
歳出総額	8,067,799	千円
実質収支	235,491	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

■財政力指数

・新幹線車両基地や大型店舗などの開設により、類似団体平均を上回る税収があることから0.8となっている。近年上昇傾向(平成14年度から+0.12)であるが、今後も歳出の徹底した見直し(平成17年度から予算の枠配分制導入)や行政の効率化に努めるとともに、税収の徴収率向上対策など歳入確保に努めることにより、財政力指数は上昇するものと考えられる。

■経常収支比率

・過去に整備した教育施設や土木施設に充当するために借入した町債の償還により、公債費に係る経常収支比率が全体を引き上げている。今後は経常経費の削減を図るため、枠配分による予算編成を継続するとともに、事務事業の見直しを更に推進し、事務事業の優先度を厳しく点検していく。さらに町税等の徴収施策の推進により、経常収支比率の改善が図られるものと考えられる。

■人口1人当たり人件費・物件費等決算額

・人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、主に物件費が要因となっている。これは主に屋内温水プール等の施設管理運営に経費を要するため、指定管理者制度の導入など委託化の検討を進め、コストの低減を図っていく方針である。

■ラスパイレース指数

・人事院勧告に準じた給与改定及び各種手当の見直し等により、職員給与の適正化に努めているが、類似団体平均と比較すると若干高い水準となっている。平成18年4月から給与構造改革を実施しており、今後も職員給与の適正化に努めている。

■人口1人当たり地方債現在高

・近年の都市化に合わせた人口急増に伴う小中学校の建設や庁舎建設など大型プロジェクトに係る借入で類似団体平均を上回っているが、起債抑制策(償還額を上回らない借入額の設定)を実施しており、地方債現在高は確実に減少している。

■実質公債費比率

・近年の起債抑制策(償還額を上回らない借入額の設定)により類似団体平均を下回っている。今後も引き続き起債抑制策を政策的に継続していく。

■人口1,000人当たり職員数

・過去の新規採用実績により類似団体平均及び全国市町村平均を下回っている。今後も引き続き、定員モデル及び類似団体職員数の状況との比較等により策定している定員適正化計画に基づき、職員数の抑制を図っていく。